

ワンクロスWG

登録番号: 第23047号

(フルアジホップP・リニュロン水和剤)

適用拡大の概要

＜作物名の追加＞

- ・作物名「かんしょ」を追加する。

＜使用時期の変更＞

- ・作物名「だいず」の使用時期について「(草丈15cm以下)」を削除する。
- ・作物名「にんじん」の使用時期について「(草丈20cm以下)」を削除する。

(下線部が変更点)

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | 適用地帯 | フルアジホップPを含む農薬の総使用回数 | リニュロンを含む農薬の総使用回数 |
|-------------|-------|---|------------------|--------------|---------|--------------------------------|--------------------|---------------------|--|
| | | | 薬量 | 希釈水量 | | | | | |
| だいず | 一年生雑草 | は種後出芽前 (雑草発生前) | 250～300g /10a | 100L /10a | 1回 | 全面土壌 散布 | 全域 | 1回 | 2回以内(全面 土壌散布は1 回以内、雑草 茎葉兼土壌散 布は1回以内) |
| | | <u>本葉3葉期以降</u> (雑草生育期) <u>但し、収穫45日前まで</u> | 200～300g /10a | | | 雑草茎葉兼 土壌散布 (畦間・株間 処理) | 全域 (北海道を 除く) | | |
| | | <u>本葉5葉期以降</u> (雑草生育期) <u>但し、収穫45日前まで</u> | 200～300g /10a | | | | 北海道 | | |
| にんじん | 一年生雑草 | は種直後 (雑草発生前) | 200～250g /10a | 100L /10a | 1回 | 全面土壌 散布 | 全域 | 1回 | 2回以内 (は種直後は1 回以内、にんじ ん3～5葉期は 1回以内) |
| | | <u>3～5葉期</u> (雑草生育期) <u>但し、収穫30日前まで</u> | 200～250g /10a | | | 雑草茎葉兼 土壌散布 | | | |
| <u>かんしょ</u> | 一年生雑草 | 生育期 (雑草発生揃期) 但し、収穫60日前まで | 200～300g /10a | 100L /10a | 1回 | 雑草茎葉兼 土壌散布 (畦間処理) | 全域 | 1回 | 2回以内(全面 土壌散布は1 回以内、雑草 茎葉兼土壌散 布は1回以内) |

＜使用上の注意事項の変更・追加＞

次ページに記載

ワンクロスWG

登録番号: 第23047号

(フルアジホップP・リニューロン水和剤)

＜使用上の注意事項の変更・追加＞

・注意事項の冒頭に1)を追加する。

1) 一般的注意事項

・「(7)だいたいの畦間・株間散布に使用する場合、専用ノズルを使用すること。また噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布すること。」を削除し、注意事項の末尾に下記のとおり2)を追加する。

2) だいたいの畦間・株間散布に使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ること。

(1) 専用ノズルを使用すること。また噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布すること。

(2) 散布適期は雑草生育期(草丈15cm以下)であり、使用時期を失しないように散布すること。

・「(8)にんじんに使用する場合、高温時は薬害を生じるおそれがあるので、使用しないこと。」「(9)にんじんに使用する場合、特定の品種(ベータ312等)においては生育期に使用すると薬害を生じる場合があるので注意すること。」を削除し、注意事項の末尾に下記のとおり3)を追加する。

3) にんじんに使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ること。

(1) にんじんの生育期に使用する場合、散布適期は雑草生育期(草丈20cm以下)であり、使用時期を失しないように散布すること。

(2) 高温時は薬害を生じるおそれがあるので、使用しないこと。

(3) 特定の品種(ベータ312等)においては生育期に使用すると薬害を生じる場合があるので注意すること。

・注意事項の末尾に下記のとおり4)を追加する。

4) かんしょに使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ること。

(1) 散布適期は雑草発生揃期(草丈10cm以下)であり、使用時期を失しないように散布すること。

(2) 作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように使用する。

・一般的注意事項に下記のとおり(7)を新たに挿入し、以降繰り上げる。

(7) カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、これら雑草の優占圃場での使用はさける。